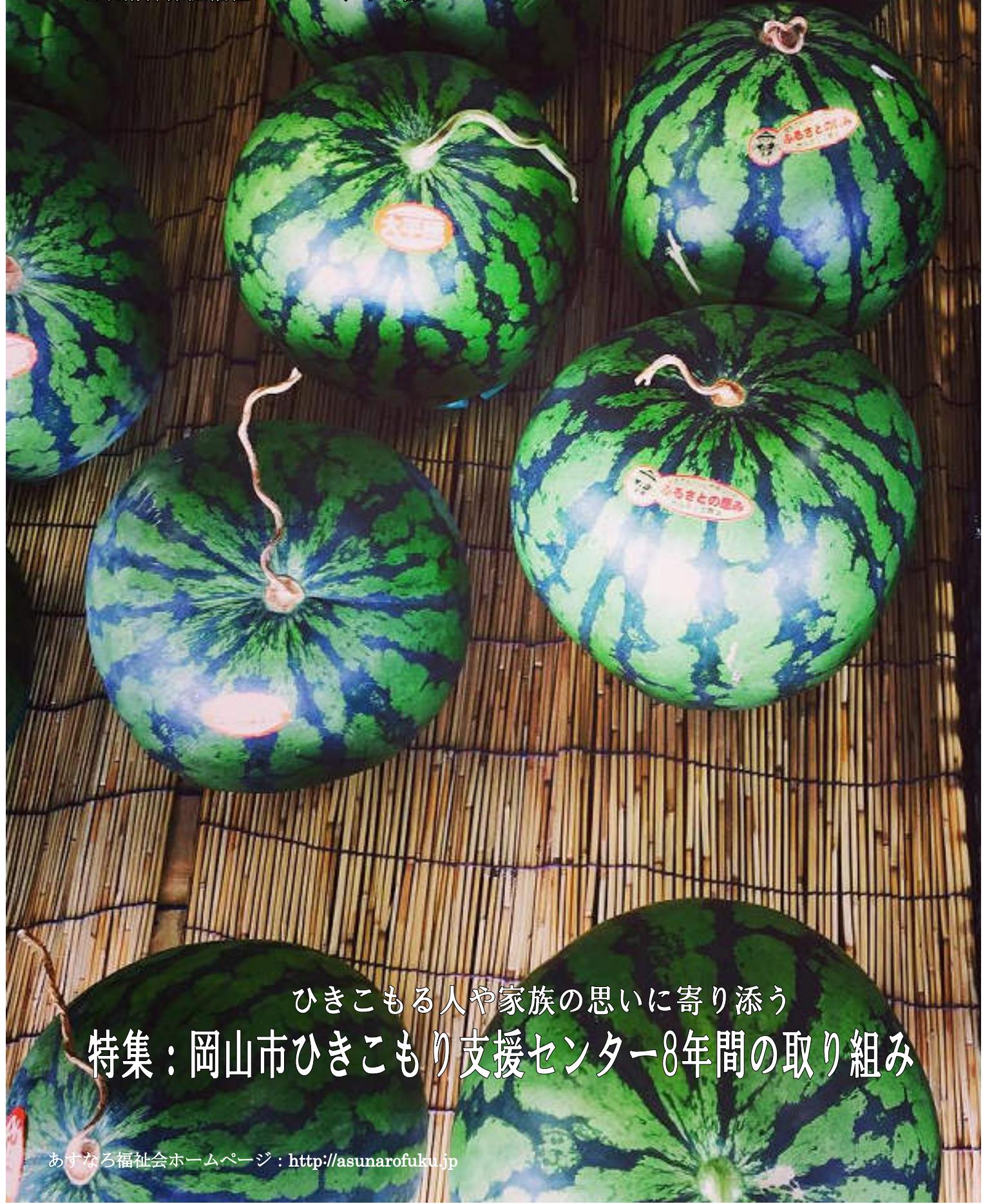


ぱる通信

地域精神保健福祉コミュニティー誌

8

No. 235
夏号 2018



ひきこもる人や家族の思いに寄り添う
特集：岡山市ひきこもり支援センター8年間の取り組み

ひきこもる人や家族の思いに寄り添い

関係作りを大切にする

岡山市ひきこもり支援センター8年間の取り組み



岡山市では、ひきこもり支援に特化した支援体制の整備のため、平成二十二年七月、「岡山市ひきこもり地域支援センター」が、岡山市こうの健康センター内に開設され、相談支援や普及啓発活動が行われています。また、平成二十六年九月より、あすなろ福祉会において、その事業の一部委託を受け、社会参加活動や就労支援が行われています。

今月号では、「岡山市」ころの健康センター」作野祐子支援係長と東麻美主任保健技師のお二人に、岡山市のひきこもり支援の取り組みについて伺い、後半では「あすてっぷ」の活動の紹介を行います。

■どのような方が対象になるのですか？

厚生労働省のひきこもりの定義の方が対象となります。実際には、「子どもが、家の中にどじつもっているのでどうに対応すればいいのか?」「不登校気味で、その後、進学、就職せずに家にひきこもっているので心配だ」などの相談に対応しています。年齢層で言うと十代後半から四十年代の方が多く、何らかの障害や疾患などの診断を受けておらず、自室にひきこもっている状態の方をおら

大枠で対応しています。

岡山市では、ひきこもり支援に特化した支援体制の整備のため、平成二十二年七月、「岡山市ひきこもり地域支援センター」が、岡山市こうの健康セ

■はじめは「本人、」家族からの相談が中心でしょっか？

そうですね。「本人からの電話相談もありますが、「家族からの相談がほとんどの入り口となります。ひきこもり期間は、六ヶ月未満という方が増えていますが、一方で十年以上の方も一定数おられます。

■平成二十九年度、どのくらいの相談件数がありましたか？

実態調査はしていませんが、内閣府において「若者の意識に関する調査」(二〇一六年)が行われています。その中で狭義のひきこもりが十七万六千人、広義のひきこもりが五十四万千人となつ

た一年通しての相談実数は、二四一人となります。最初の相談の入り口は、電話や来所しての「相談で、その合計が二四一人となります。年々相談件数は増えています。

■岡山市として、ひきこもり実態把握のための調査は行っていますか？

「ひきこもり」とは、学校への登校や、アルバイトを含む仕事など、外部との接触を避け、原則的に6ヵ月以上にわたって家庭にとどまっている方をいいます。ただ、ひきこもりには、買い物やドライブなど他者との直接的交流を持たない外出のみ可能な方も含まれます。
(厚生労働省の定義より)

●「狭義のひきこもり」とは

「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」「自室からは出るが、家からは出ない」「自室からほとんど出ない」に該当する人。

●「準ひきこもり」とは

「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」

●「広義のひきこもり」とは、

「狭義のひきこもり」と「準ひきこもり」を合わせた人数。

特集：岡山市ひきこもり地域支援センター8年間の取り組み

であります。岡山市の人団に按分するど、狭義の「ひきこもり」が、約千五十人、広義の「ひきこもり」の方を含めて、約二千人の「ひきこもり」の方がおられると想定しています。そのうち、岡山市ひきこもり地域支援センターで開設当初から対応した総数は、約千二百人となっていきます。

■岡山市ひきこもり地域支援センターのスタッフは何人ですか？

「一ティネーターが三名、その他の業務と兼務で行っている職員が二名の五名で支援を行っています。

■ひきこもり地域支援センターの活動目標は…

「ひきこもり相談電話に連絡頂いて、今後の支援に繋げていきます」と考案されています。「家族中心の相談から、「本人への支援に移り、「本人が来所して頂けるようになります」というのが目標です。

■相談に対応していくスタッフが大切にしていくことは何ですか？

最初の相談は、「家族の方が多く、「

家族の方は疲弊して、いたり行き詰つて、おり、将来に對して不安を感じておられます。まずは、「家族の方の」「苦労を労しながら、今後の介入について一緒に考えて、いきます。」「家族の良き支援者になれるよう、関係作りを大切にしています。

■具体的に電話相談後は、どのような形で支援が進んでいくのですか？

「家族からの相談の場合だと、二週間から一ヶ月に一度、定期的に来所面接をさせて頂きます。」「本人と、家族の状況をお聞かせ頂き、「家族の中だけだと気付かない、「家族が行っている」本人への対応の良いところを伝え、」

「うすればもつと良くなるのではと提案していく。」のようにして、少しずつステップを踏みながら、二人との会話が出来ない」「「何とかケーションが取れないため、どう対応したらいいのか」という内容が多いです。長期的、継続的に面接を行っていくことが必要です。

■ひきこもり「本人」に対する、「家族の

対応で大切なことを教えて下さい。

例えば、「全然会話が出来ない」という方であれば、「家族は無理やり会話をしようとせず、一方通行でもいいかを考えています。」「おはよっなどのあいさつや、「お母さん、行ってくるね」などの声かけから始めてみると、」ことをお伝えします。反応がなくてもあきらめず、まずは始めてみると、これが大事です。

「本人が就労や外出の意欲がない場合、そこばかり目を向けるのではなく、例えば、家で手伝いをしてくれる子どもさんの場合、「助かってる」という感謝の気持ちを伝えることや、「本人がやつて、いる」とを認めるような声掛けを増やしていくことが大切です。

「1)家族の将来への不安に對しては、どのように対応をされているのですか？」

今後利用可能な福祉サービスなどの情報提供を行っています。具体的には、「あすてっぷ」の紹介や就労支援サービス、生活や福祉の制度など、これから先必要な情報提供をさせて頂き、見通しを持てるようにしていきます。

■実際「家族の面接を通して、子どもの間に変化があつた方のお話を聞かせて下さい。

お母さんは自身の不安から子どもさんに対し、「早く働いて」などの、フレッシュヤーを与える様なこれまでの声掛けをやめ、あまりフレッシュヤーを与えないよう、心掛けたお母さんがいらっしゃいました。そうすると、これまで部屋から

「その」ばかり目を向けるのではなく、「例えれば、家で手伝いをしてくれる子どもさんの場合、「助かってる」という感謝の気持ちを伝えることや、「本人がやつて、いる」とを認めるような声掛けを増やしていくことが大切です。

④段階的な社会参加 その「やった」社会参加を目指す。

段階的・能力支援等

③中間的な集団の場への参加 家庭以外で安心できる場を構える社会経験を積む。

居場所支援、社会体験活動

②本人への個別アプローチ 家族以外の人相談員等での関係構築

①家族へのアプローチ
家族だけ抱え込まない適切な対応方法を知る。



特集：岡山市ひきこもり地域支援センター8年間の取り組み



面談室

「出で」なかつた子どもさんがありビングまで出でくるようになり、「問い合わせ」に対しても少しずつ反応が返ってくるようになつたそうです。長い時間かけて、少しづつの変化でしたが、「お母さん自身も「まあいいか」「いつか何とかなるわ」という考え方へ変化し、お母さんも樂になつた」と語っていました。

その後、お母さんや担当スタッフと外出が出来るようにまでなつたのは、お母さんの関わり方の変化が大きかつたと思います。

■「家族との面接後、支援はどうのよに進んでいくのぞしょつか?

「家族と相談しながら、「本人に会うためのタイミングを考えていきます。まずはお母さんから」「本人に」「お母さんが」」といふ事が心配で、ひきこもり

実際には、訪問に行つても会えない方が多く、会えないままずっと繰り返している場合もあります。

ひきこもりの経験をされた方から当時の話を伺うと、「自分では、何とかしたい思いはあるけど出来ない」といふ葛藤やしじきがあつた」と語られています。ひきこもりの期間は様々ですが、ご家族の入院や病気、「家族が仕事を辞めて収入がなくなつたなど」、「家族の中で大きなエピソードがあつたタイミングで、「本人に会つ」ことが出来る場合もあります。お会いできた場合、最初は

地域支援センターに相談に行つて、「なんだよ」と思ってみたり、「お母さんは話を聞いてもつて樂になつたから、あなたも行つてみる?」など、提案や説明をしてもらいます。「本人の反応を見ながらお母さんから、「この日にスタッフの方に家に来てもうよ」と、告知をしておきます。特に大きな拒否的な反応がない場合は、月一回の訪問などを検討していきます。「本人に会つ第一印象がとても大事ですし、そこは慎重にタイミングを考えておきます。

■訪問のタイミングは、どのよつに考えていくのですか?

「かうでは、個別での担当との活動や、二~三人の小グループの活動として、料理、ナノブロック作り、ちぎり絵などの活動や、ハローワーク、若者サポートセンターに行き、実際に求人検索をしてみると、つ活動もしています。次第に

長い時間ではなく自己紹介程度で、会えて嬉しかった」と、一緒に力になりました」と思つている」と、これからゆづくり話を聞きたいし応援していき、と云つことをお伝えします。

■ひきこもり地域支援センターでの個別の活動はどのようなことをされているのですか?

「かうでは、個別での担当との活動や、二~三人の小グループの活動として、料理、ナノブロック作り、ちぎり絵などの活動や、ハローワーク、若者サポートセンターに行き、実際に求人検索をしてみると、つ活動もしています。次第に

今回の取材では、ひきこもり支援では、特に家族支援がとても重要で、そのことが「本人への支援に繋がる」という具体的なお話を伺うことができました。ありがとうございました。



完成したナノブロック

岡山市ひきこもり地域支援センター

【電話相談】086-803-1326

◎月曜日～金曜日(祝日・年末年始除く)

◎午前:9時半～12時 午後:1時～3時

【来所相談】センターにてご相談をお受けします。

まずは、専用電話にご連絡下さい。

岡山県岡山市北区鹿田町1-1-1

岡山市保健福祉会館4階 岡山市こころの健康センター内



あすへの新たなステップを踏み出そう！

あすてっぷ

ひきこもり支援センターあすなろ「あすてっぷ」は、あすなろ福祉会が岡山市から委託を受けている事業です。ひきこもりの方の「社会参加応援」と「就労支援」の二つを事業の柱としています。

あすてっぷという愛称は、利用メンバーと一緒に考えてつけました。「あすへつながるもの」と「ワンステップ」を掛け合わせて「あすてっぷ」。みなさんにとって「なにかの一歩」を踏み出せる場所となるようにという願いが込められています。



■どのような人が利用している？

岡山市ひきこもり地域支援センターに相談されている方のうち、集団活動を通して人に少しずつ慣れたい、体力や自信を付けたい、就労支援を受け、じっくり就職活動を行っていきたい、というニーズをお持ちの方が利用をされています。「いずれは就労したいんだけど、自分一人では動けない」「このままではいけないと分かっているけど、何をすればいいか分からない」…やりたことがまだ見つかないと悩んでいる方も、まずは、気軽にお越しいただくところから始める」ことができます。あすてっぷや人に慣れながら、少しずつやりたいことを見つけていきます。

■どんな活動があるの？

あすてっぷでは、月初めにあるメンバーミーティングで活動内容を決めていきます。基本的には、プログラムは強制参加ではなく、個々に合った利用方法と一緒に考え、活用していただいている。希望に応じ、あすてっぷのプログラムを見学・体験する」ともできます。

○集団活動プログラム

【野外活動】
「外作業で体力をつける」とを目標に実施しています。『畠』では、北区一宮



【ヨコニケーション会】

人と接するのが苦手、「ヨコニケーション」をついたいという方もいらっしゃるのではないかでしょうか。「おしゃべりカフェ」では、お菓子一品を持ち寄りぎくばらんな雰囲気で女子会をしています。

にある畠に行き作物を育てています。これまで、玉ねぎ・じゃがいも・「ゴーヤ」が収穫できました。畠で採れた作物は、その後収穫祭を開催し、調理します。『山ボランティア』では、東区西大寺にある山に行き、地域のボランティアさんと一緒に活動しています。

【メンバー企画】
「やつてみたい」とはあるけど、一人でやるのは難しい」という方がいらっしゃるのではないかでしょうか。あすてっぷで

【個別支援】

面談を実施し、その方のニーズを伺つたうえで生活面の振り返りや就職活動等を行います。

あすてっぷに関心をお持ちの方、まずは岡山市ひきこもり支援センターにご相談下さい。「希望に応じて見学ができます。見学には「岡山市ひきこもり地域支援センタースタッフ」も同行できます。

は、メンバーさんの提案をもとに、一緒にプログラムを企画・実施しています。釣り・映画鑑賞会・かき氷を食べに行く等、様々なプログラムを実施しています。

【就労セミナー】

就職活動を始める前に、就労について学ぶ場が欲しいという方のニーズを伺い実施しています。「電話応対の仕方」「履歴書の書き方」「面接練習」等、就労に必要な知識を身に着けます。



平成30年度 あすなろ家族の会総会 を開催



平成30年度「あすなろ家族の会」総会が開催され、「あすなろ家族の会」会員一七名の「家族に出席いただき、無事会を終えることができました。出席いたしました。」と報告がありました。総会では、平成二十九年度事業報告・会計報告、平成三〇年度役員選出・事業計画・予算案の承認を頂きました。また家族同士の貴重な交流の機会も持つことができました。

内容としては「本人のしんどさをどう理解してやればいいのか」「夫婦間や家族内の本人や病気に対しての捉え方や認識のずれがある」「自分の人生も謳歌したい」等個々で悩まれていることを語り合い、アドバイスをし合う場となりました。

今年度は家族の方の要望を受け毎月交流会を行う予定にしています。

次回は今月一八日（土）待ちしております！



を開催

癒し場は、参加者一人一人から『話したい事』を教えて頂き、それを他の参加者一人一人にコメントして頂く座談会（グループトーク）です。バスや保留、途中参加や途中退出が可能、一番大切にしている事は他人を批判しない事、他人に強く何かを勧めない事です。

話の内容をまとめたり、話の内容から答えを出すのではなく、それぞれがそれぞれの発言から自分の感じた『イイトコドリ』をする場です。そんな中で、参加者同士の共感が有ったり、それぞれの個性の尊重が有ればと思つて毎月開催しています。

毎月の内容です。

六月三〇日（土）に平成30年度「あすなろ家族の会」総会が開催され、「あすなろ家族の会」会員一七名の「家族に出席いただき、無事会を終えることができました。出席いたしました。」と報告されました。

皆様には、お忙しい中、足を運んで頂きありがとうございました。総会では、平成二十九年度事業報告・会計報告、平成三〇年度役員選出・事業計画・予算案の承認を頂きました。また家族同士の貴重な交流の機会も持つことができました。

- 七月（参加者五人）
 - ・気を紛らわせる為の対処方法
 - ・一人暮らしのメリットとデメリット
 - ・自分が疲れない為の方法
- 六月（参加者三人）
 - ・参加人数が少なかったので、参加者全員で、自分の元気と家族との関係性を「*rajo*（元気回復行動プラン）の概念を参考に話し合いました。

七月十三日（金）あすなろの理事である園雲先生が運営されている「夢想庵」におじゃまし、ディキャンプを開催しました。

まず快く場所を提供してくださった感謝の気持ちを込めてお庭の草取りをみんなで取り組み、それからいよいよ灼熱のバーベキュー・美味しいおにぎり、鉄板焼きそば、サラダに南雲先生からの美味しいおもてなしで、みんなで汗をかきながらもりもりいただきました。お肉が苦手な方は焼き魚もあり。こんなにやくや長芋、丸ごと焼いたピーマンなど初めて焼く食材もあり、改めて美味しさを知る事が出来ました。

今日は仕事や家族関係のトークテーマが多くつたりましたが、一人暮らしや不調時の過ごし方もテーマになりました。

これからも参加する事で、仮に答えが出なかつたり見通しが立たなかつたとしても、参加者の方の孤独や不安が和らぐ場、「癒し場」であるように運営していきたいと思うので、皆さんの御参加を心から御待ちしています。

ちなみに参加者の声で一番多いのは「思っていた以上に、意外に自分に似た似たような経験が有る人がいる事を発見出来た」です。

七月十三日（金）あすなろの理事である園雲先生が運営されている「夢想庵」におじゃまし、ディキャンプを開催しました。

まずは母屋をお借りしチームに分かれてゲーム大会。毎年恒例のハニィクイズはレベルアップしており、それぞれのチームでこじれました。あっちむいてホワイトナメントも白熱し、優勝はなんどスカッフさんでした（笑）

準備に協力してくださったメンバーサン達、実行委員の方々、本当にありがとうございました！



木下大サーカスに行ってきました！

七月、木下大サーカスを観に行きました！

今回ははる・おかやまや・JSKA、MOMO等、事業所毎に口程を調整しての観賞です。

表町に集合して車に乗り令わせて行く方と現地集合の方などで集まつて、田南ハッピータウンの専用休憩所でしばらく涼みながら「中は暑いかなあ」「絶対暑いわー」とわいわい話をしながら通じました。

テントの中は覚悟していたほど暑くはなくそれでもそこそこ涼みました。暑いはなくそれでもそこそこ涼みました。

平日だったからか席の埋まり具合もそれなりで、落ち着いて観ることができました。楽で睡れて見えにくい部分もありましたが、天井から客席近くまで使ったダイナミックなショーにみんな夢中になりました。



土曜夜市

七月一日（土）はあすなろ福祉社会の事業所がある岡山市北区の表町商店街（紙屋町）で、毎年恒例土曜夜市でした。

町内の人たちと事前に打ち合せを行い、ゲームの景品の買い出しがら始まり、ヨーヨーを眺らませたり、POPを描いたり、皆で各自と準備してきました。

行事は、普段分かれて活動しているメンバーさん同士が仲よくなるチャンス！ヨーヨー作りでは大きくて膨らませ過ぎて割れてしまったり、水浸しになつたり、ハブリングが続出でしたが、笑いの絶えない楽しい作業になりました。

当日、暑が晴れても暑さの残る商店街で、輪投げやヨーヨー釣り、金魚すくいや回転おみくじなど、楽しいゲーム盛りだくさんの夜市に、たくさんのお客さんが小判（土曜夜市での通貨で、五両五百円）片手に大量景品を狙つて来られました。あなたのメンバーさんも多く来てください、お客さんとして楽しめれたり、売り子として手伝つてください、それその地域参加の形を実現されていました。また、大道芸に笑つたり感動したり、落ちやしないか怪我しないかとハラハラしたり、馬や象のキユートな芸に二コ二コしたり。暑さでバテたのか毎日のショーの疲れなのか、芸をしたがらないライオンがいたり…。それもまた可愛くて面白かったです。



ソフトボール大会 試合報告



七月六日（金）に岡山ドームで行われたソフトボール大会にアスナローズが出場しました！当日は天候も悪かったです、他のチームの協力も得ながら、五名の選手が試合に臨みました！四名のメンバーさんも応援で駆けつけて下さい、選手を応援してくれました。

試合は「万成フェニックス」と行ない、点をとり、とられ、お互い攻め合つ試合となりました。最終回に同点まで持ち込みますが、惜しくも六対七で敗れてしまいました。悔しい！

午後の最終試合はチーム混合で交流戦！他のチームと協力しながら、楽しく試合ができました。大会では、ソフトボールを通して知り合いが増えたり、知らない人ととも協力したり…普段の練習とは違つた楽しさを感じることが出来ました。

今回、アスナローズは大会六位という結果になりました。秋にはまた大会があるので、今後のアスナローズにも期待大です☆今後も是非応援して下さい！一緒にソフトボールをしたい人も大歓迎です！

●あなたのチャームポイントは?
●右側だけクセつ毛の髪。
●すぐにお日様の光を吸収して日焼けする肌。

●子どもと公園で遊ぶ。

- カフ士めぐり。映画を観る。
(一人でレイテンシーー。)

④ ③ ② ①
畠山に戻り 子育てに専念
保育園勤務。
(○歳児の笑顔に癒される日々。)

② 広島に引っ越し、心身障害者福祉（二）交替勤務で昼夜逆転きみ!?

Q これまでの経歴は



ジョブサポートセンターあすなろ



- あなたは「これから」の事・田嶋は？
● 一人旅に出かける。
● きれいな開脚ができるようになろう。
(毎日、ストレッチを頑張り中さ)

● Q 好きな食べ物 (子どもの頃は丸々1個食べてました。) スイカ

Q オフの口は何をしていますか？

Q>これまでの経歴は?
あすなろ福祉会では、平成九年から平成十五年まで、ぱる・おかやま（地域生活支援センター）、せつけんセンター（精神障碍者通所授産施設）、藤原莊（グループホーム）で仕事をしていました。その後、【社福】閑谷福祉会に三年、NPO東備で十二年仕事をしています。平成三十年四月から、ぱる・おかやまで週三日、お手伝いさせて頂いています。林病院（医局秘書 林友

相支援事業所
ぱる・おかやま



矢田 初恵（やた はつえ）

ふたご座 A型
ぱる・おかやまで相談支援員として、これまでの経験を活かし活躍しています。矢田さんがすなはちおられたのは今から15年以上前ですが、エネルギーッシュで温かみのある人柄はその頃と全く変わっていません。さらにパワーアップした経験値を活かし、様々な場面で活躍されることと思います。



⑤ 邦楽にも田代め三味線を始める。

⑥ 精神科病院に勤める。

⑦ 転職し、あすなろと出合つ。

Q オーバーの口は何をしていますか？

- 楽器を弾く
- 映画を観る
- 家にひきこもる
- ペット（猫・フクロウ・レッド）と遊ぶ

Q あなたのチャームポイントは？

何でしよう？ · · · ?

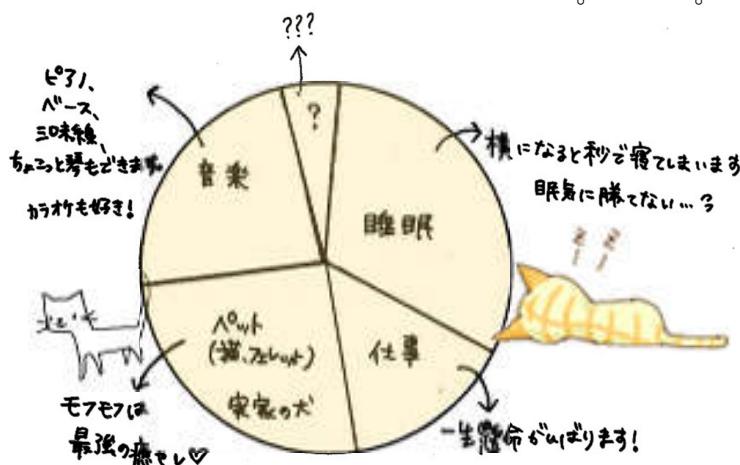
教えてください。（笑）

Q 好きな食べ物を教えてください。

ビスコ・カブリコ・バームロール

Q あなたのこれから夢・目標は？

一軒家を立てる。海外旅行に行く。



Q オフの日は何をしていますか？ 映画を観たり、美味しいものを探すにドライブしたりします。

Q あなたのチャーハンポイントは？ 十年以上続く短い前髪です。

Q 好きな食べ物は？ お蕎麦とマクドナルドのソフトクリームです。



Q「これまでの経歴は?

Q あなたは何で占められている？

河合 遥(かわい はるか)

おうし座 A型

ばる・おかやまで相談支援員として活躍されています。これまで精神保健福祉士として、精神科病院での豊富な勤務経験があります。穏やかで落ち着きのある雰囲気や温厚な人柄の方です。今後はこれまでの経験を活かし、地域で活躍されることと思います。



Q あなたの「これまでの経歴は?

歯科技師として、歯科医院で働いていました。結婚後は飲食店で働き、販売前職は造園会社で4年間働き、販売しながら、お客様と一緒にリースや苔玉とか・・・色々作っています。

Q 「これから夢・目標は? 子育てをやり遂げる——...」
T ハート ROCKに行き
Q あなたは何で止められて? :

子育てをやり遂げる！！

小澤 信子（おざわ のぶこ）

かに座 A型

かに座り、焼き菓子と雑貨MOMOで、お菓子作りを担当しています。今年2月から勤務され半年余りですが、MOMOメンバーのペースを尊重しながらも、自然と温かい場の雰囲気を作られています。とても優しく、更におしゃれで、MOMOになくてはならない存在です。



投稿・募集
コーナー

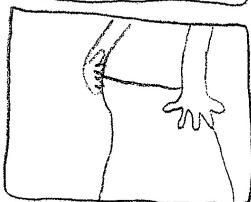


「統失デビュー11周年」vol.14 ふじ一歩

薬の副作用のせいか、食べても食べてもお腹が一杯にならなかった



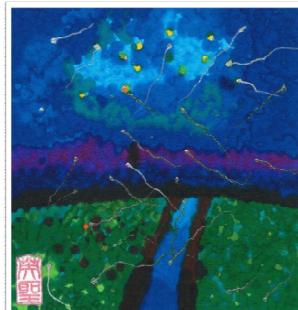
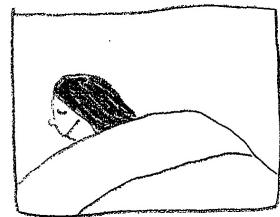
下つ腹が出て顔も二重あごだった



今は新薬になつたお陰か適量で満足するようになった

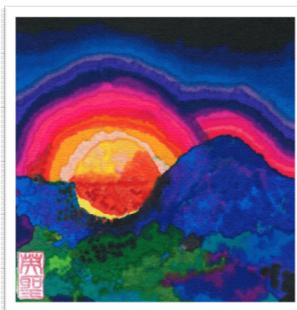


お腹も満腹になって幸せ～。



↑ ENDLESS HISTORY

虫の飛翔
英聖 作



↑ ENNDLESS ISTORY

大自然の夜明け
英聖 作

New face!!

TMさん作

「ファイナルファンタジーキャラ」



ぱるこ広場



囲碁盤ありませんか？

家に眠っていたり、使っていない囲碁盤ありませんか？探しています。寄付してくれる方はぱるおかやままでご連絡下さい。



古楽日和

こがくひより

藤井 健喜

ある分野のことを知りたくて、まずは入門書だということで、どのような本があるのかをインターネットで調べてみたりすることがある。このとき、本のレビューとして書かれている文章の半が、いわゆる「上から目線であることに気づいた。いわく「この本だけすべてのことはわからない、中途半端だ」とか「この程度の情報ならネットにでもあるとか、とにかく、なにかとレビューしている本を見下したような文章が多い。もちろん、全員が全員絶賛する本などといふものはありえないから、それは嘘だなどすぐには判断できる。しかしだからといって、全員が全員酷評する本などというものもありえない。

なぜならレビューの賛否は、だいたい半々程度になって落ち着くものだからだ。どのようないデータの集まりも、データの数が増えれば増えるほど、必ず中央が高い山型のグラフになる。つまり必ず平均的になっていく。それでも結果がかたよったものになるというのであるなら、それは集めたデータの数が少なすぎるのである。

仮にネット上のレビュー全体の傾向が、一方にかたよつたものだったとしたら、それはそういったレビューを書きたい人ばかりがネット上に集中したためだ。だからそれが国民全体の意見でないことは明白だ。いかにも世間一般のふりをしているが、実際はほんのひと握りの人がいっているに過ぎない。ネットはかたよりのある世界もあるのだと思う。

■発行：社会福祉法人あすなろ福祉会

■〒700-0822 岡山市北区表町3-7-27

■編集：ぱる・おかやま

■TEL:086-201-1720 FAX:086-201-1713

■E-mail:pdl-oka@mx35.tiki.ne.jp

■ホームページ：<http://asunaro-fuku.jp/>

いつもぱる通信を愛読いただきありがとうございます。29年度より、ぱる通信は春号(4月)・夏号(8月)・秋号(11月)・冬号(2月)発行となります。今後ともよろしくお願ひします。